

## 学校応援プロジェクト 2021 年度活動報告

### 東京都立三宅高校 大学見学・キャリア学習プロジェクト

都立三宅高校では、都内への移動教室の機会を活用し、起業でのインターンシップ体験等、将来のキャリアや進路を考える取組みを行っています。その一環として、大学進学を希望している2年生3名が本学の市ヶ谷田町キャンパス、後樂園キャンパスにおける大学見学・キャリア学習を行うこととなり、学校応援プロジェクトが企画・実施を行いました。市ヶ谷田町キャンパス、後樂園キャンパスでのプロジェクトは初めてとなります。キャリア教育チームの中から、この2つのキャンパスに通っている国際情報学部と理工学部のメンバーが参加し、オンラインの打ち合わせや事前の見学コースの下見を重ね、当日を迎えました。

当日は市ヶ谷田町キャンパスからスタート。2019年度に開校した新しいキャンパスで、国際情報学部の学生が通っています。大画面のモニターが設置されたガラス張りのエントランス、落ち着いた雰囲気です。自習ができるコミュニケーションホール、顔認証による入館システム…高校生たちは初めての環境に緊張した面持ちです。その緊張をほぐすべく、午前中担当のメンバーは簡単なゲームを準備していました。少しずつ笑顔も出てきたところでキャンパス内の見学に出発！メンバーの案内で、授業で動画を制作するためのスタジオ、図書館、ラーニングコモンズ等を見学していきます。



キャンパス内を一回りした後は、大学生との懇談タイムと授業体験です。懇談タイムでは、大学選びや学部選びのこと、受験に向けた準備、大学に入ってから履修の仕方やアルバイトのことなど、様々なことが話題にのぼりました。また、授業体験ではオンライン双方向型で実施している授業の一部聴講しました。授業内容に近い分野の学部を希望している生徒にとっては特に興味深かったようです。

お昼からは後樂園キャンパスに移動し、まずは学生食堂と生協を体験します。感染症拡大防止のために通常よりも提供メニューが少なかったのですが、あれこれ目移りしながら楽しんでくれたようです。

午後の部は、理工学部の研究室見学がメインとなります。人間総合理工学科・小峯研究室、精密機械工学科・梅田研究室、都市環境学科・榎山研究室の3か所をまわります。それぞれの研究室では、教授や大学院生から現在行っている研究内容についての説明を受け、実際に研究で使っている設備の体験も行いました。身体の動きを感知するセンサーで部屋の中の電子機器を操作する体験では、「これすごい！！」という声があがり、みんなの目が輝きました。大学でこんなこともできるんだ！と驚いたのではないのでしょうか。

見学の後の大学生との懇談タイムでは、午後担当の理工学部の学生から理系学部への進学に向けた準備、理系学部の学生の大学生活等が話題になりました。「理工系に進学すると勉強ばかりで忙しいって聞いたんですけど…」「研究室にもよるけど、確かに忙しいかも…（笑）」こんなリアルな話が聞けるのも、このプロジェクトならではの体験です。後日、届いたお礼状では、「在学している先輩たちの生の声を聞いたり、活躍する姿をみることができ、励みになった」「大学内や研究室の見学を通じて大学の雰囲気を肌で感じる事ができた」という大変うれしい感想をいただきました。

